最新トピックス情報入力用紙

日時・場所	令和元年１１月６日（水）　苫小牧市
トピックス題名	道庁主催の震災災害訓練
トピックス内容	函館市、旭川市、札幌市、苫小牧市、釧路市の下水担当者、並びに下水道管路管理業組合の約４０名が参加する、震災災害訓練の実施訓練において、エアハート工法の実演を行いました。 デモの様子 地元建設新聞抜粋記事

有事に備え実地訓練

道下水道災害対策会議

苫小牧で情報収集や連携確認

【苫小牧】道や苫小牧市などで構成する北海道下水道災害対策会議は5、6の両日、市内で実地訓練をした。被災地の復旧を支援するための先遣隊参集や情報収集、浸水被害復旧などを進め、有事に備えた。訓練は隔年で実施。北海道胆振東部地震の発生を受け、ことしに延期された。道などのほか、札幌市、函館市、旭川市、釧路市、日本下水道事業団、全国上下水道コンサルタント協会、日本下水道管路管理業協会から約30人が参加。苫小牧沖を震源とする震度6強の地震が市内で発生し、停電や一部断水、ガスの供給停止などが起きていると想定した。

浸水被害の復旧訓練を実施した

5日は市役所で参集訓練と机上訓練を実施。苫小牧を除く4市から先遣隊が被災地入りし、情報の把握や収集、1次調査部隊が円滑に活動できるよう相互連携を確認した。

6日は浸水被害復旧や管路調査のほか、自動運転システム水替え工法をデモンストレーション。沼ノ端雨水1号ポンプ所では旭川市所有のポンプ車を使い、排水訓練をした。

日本下水道管路管理業協会による管路調査で、山本浄化興業の担当者がテレビカメラを活用した一次調査を披露。グローバルワークスの担当者はコンプレッサーを動力源とし、自給式ポンプや特殊プラグなどを使って汚水を既設管から直接くみ上げるエアハート工法を説明した。同工法は東日本大震災や厚真の被災地で活用されている。いずれの訓練も参加者は熱心に見学していた。